



ユニリーバ・ジャパン、「RAINBOW CROSSING TOKYO 2018」に参加 企業とLGBT*が“自分らしく働く”を考えるコンファレンスに3年連続でブース出展

ユニリーバ・ジャパン(本社 東京都目黒区、代表取締役 社長兼CEO 高橋 康巳)は、2018年10月21日(日)に東京大学で開催される「RAINBOW CROSSING TOKYO 2018」に参加します。当社は「Be Yourself」(自分らしくあること)が、一人ひとりが最大限能力を発揮し、ビジネスを成長させる基盤であるとの考えから、ダイバーシティ&インクルージョンを推進してきました。2016年9月にはLGBT支援プログラム「ユニリーバ・プライド・ジャパン」を導入。「RAINBOW CROSSING TOKYO」への参加をはじめ、さまざまな取り組みを通じて、LGBTがより自分らしく働き、暮らせる社会の実現を目指しています。



■RAINBOW CROSSING TOKYO 2018開催概要

「LGBTやダイバーシティに取り組んでいる企業はどんなことをしているの?」「職場ではどういった対応が望ましいの?」「LGBTの人たちはどんなふうにいるの?」そんな疑問を、企業とLGBTがともに考える1日です。

【日 時】2018年10月21日(日) 9:45-18:15 ※途中入退場自由

【場 所】東京大学 安田講堂・御殿下記念館(〒113-8654 文京区本郷7-3-1)

【内 容】各企業による講演、各企業との交流ブース、LGBTの社会人との交流ブース、ディスカッションブース など

【主 催】認定特定非営利活動法人ReBit

【参加費】無料 ※取材には事前申込が必要です。2018年10月15日(月)までに下記問い合わせ先までお知らせください。

■ユニリーバ・ジャパン出展内容

①パネルトーク「自分らしく働く」を考えるへの登壇 (11:10~11:45/安田講堂)

LGBTやアライの社会人によるパネルトークに、ユニリーバ・ジャパンでLGBTであることをカミングアウトし、自分らしく活躍している社員が登壇します。

②企業説明会(13:30~18:15/御殿下記念館)

ユニリーバ・ジャパンのダイバーシティ&インクルージョンの考え方や、LGBTに関わる取り組み、ブランドの取り組みをご紹介します。午前中のパネルトークに登壇する社員やアライともお話しいただけます。

■ユニリーバ・ジャパンの取り組み

「ユニリーバ・プライド・ジャパン」の4つの柱の下、人事制度の改定やコミュニティ活動などを実施しています。



ワークフォース | 人材の採用・活用

- 「RAINBOW CROSSING TOKYO」に3年連続で出展し、LGBT当事者の社員やアライが毎年参加しています。



マーケットプレイス | 市場への働きかけ

- プレミアムアイスクリームブランド「ベン&ジェリーズ」で「フェアにアイを伝えよう」をテーマにした製品の販売やキャンペーンを実施しています。



コミュニティ | 社会活動への協力

- LGBT成人式など、NGOパートナーや行政機関によるLGBTが自分らしく生きられる社会をめざすイベントに協賛・協力しています。

work with Pride



ワークプレイス | 人事制度・職場環境

- 企業行動原則に性自認・性的志向による差別禁止を明記。違反が疑われる場合は社内・社外の相談窓口へ365日・24時間・匿名でも相談できるようにしています。

- 同性パートナーを配偶者と同等に：結婚・忌引休暇、結婚祝い金・慶弔金の制度、看護・介護休暇の制度を適用しました。また、準婚姻契約書の費用を会社が負担しています。
- トランスジェンダーへの配慮：通称・服装・健康診断の際、本人の望む性別を尊重。手術の際に休暇を付与することを明記しています。
- 社内アライコミュニティを設置しています。

以上のような取り組みから「PRIDE指標」では最高評価のゴールドを獲得しました。

* LGBTとは、レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称の1つです。性的マイノリティ(性的指向、性自認に関するマイノリティ)にはLGBT以外の多様なアイデンティティを持つ方もおられます。